

## ヘリコプター救急に関する市民公開講座のお知らせ

ヘリコプターは近年、日本でも少しずつ救急医療に取入れられるようになりました。救急車に加えてヘリコプターを利用すれば、いち早く治療が開始できることから、急病人や大けがをした人びとの死亡率はおよそ3割減となり、完全に回復して社会復帰をする人は1.4倍ほどにもなることが実証されています。

ヘリコプターは、しかし、これほどすぐれた救急手段でありながら、まだ一部の地域でしか使われていません。そこで日本航空医療学会では第14回総会を機に、認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク（HEM-Net：國松孝次理事長）と協力して、一般市民の皆さまにヘリコプター救急の実態とそのあり方をご説明する機会を設けました。下記により講演会と質疑応答の会を開催いたしますので是非ともご参加いただきたく、ここにお知らせとお願いを申し上げます。

————— 記 —————

1 日時：2007年12月1日（土）16：00～17：30

2 場所：幕張メッセ国際会議場 2階 国際会議室  
千葉県美浜区中瀬 2-1 TEL：043-296-0001

3 講演会：

(1) 「ドクターヘリへの期待」

西川 渉（HEM-Net 理事）

ヘリコプター救急の実情を歴史的、国際的に展望しながら、今年6月に制定された新しい「ドクターヘリ特別法」にもとづく日本のあり方を考えます。

(2) 「ヘリコプター救急の現場から」

原 義明（日本医科大学千葉北総病院救命救急センター医局長）

救急医療の第一線の立場から現場治療の実情をご紹介しつつ、如何にしてヘリコプターの救急機能を広げ、救命効果を高めてゆくか、その将来を展望します。

(3) 質疑応答

市民の皆さまのご質問にお答えします。

4 入場料：無料

